

シークレットマネージャー > あなたの秘密

# アクセストークン

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/access-tokens/>

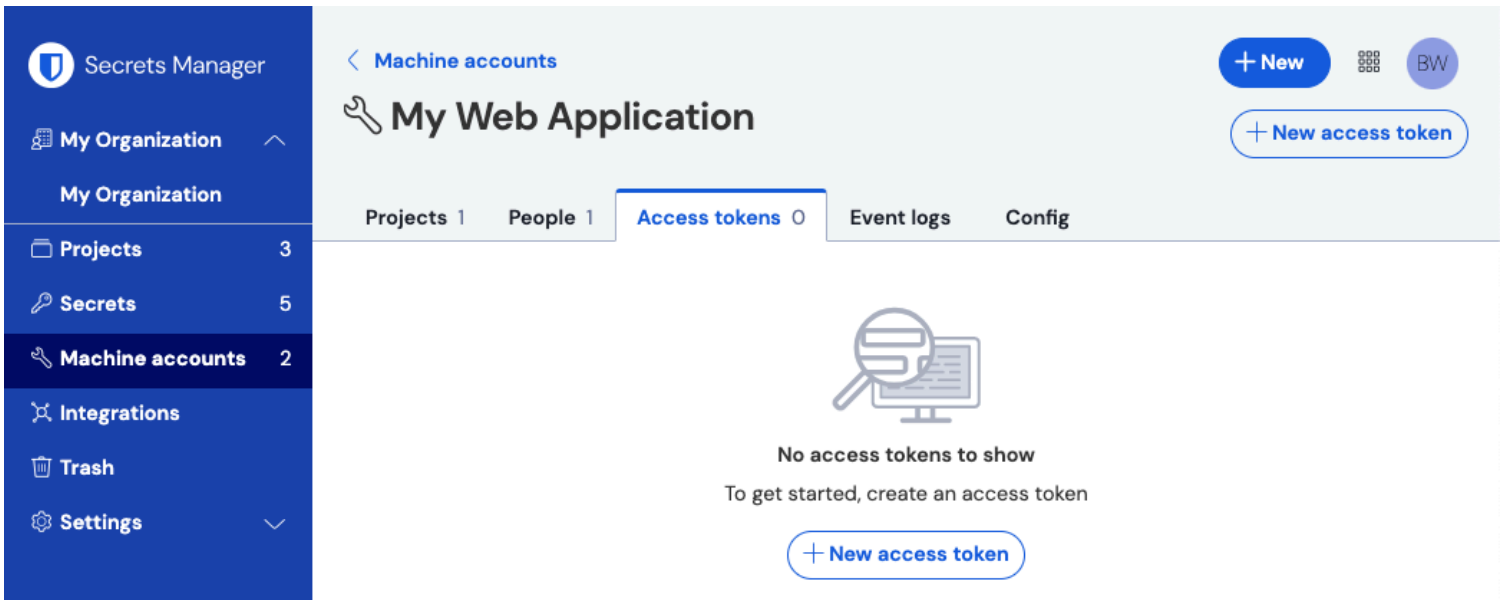
## アクセストークン

アクセストークンは、サービスアカウントへのアクセスと、シークレットマネージャーに保存されたシークレットの復号化、編集、作成を可能にするオブジェクトです。アクセストークンは特定のサービスアカウントに発行され、それが適用された任意のマシンに、そのサービスアカウントに関連付けられた秘密のみにアクセスする能力を与えます。

### アクセストークンを作成する

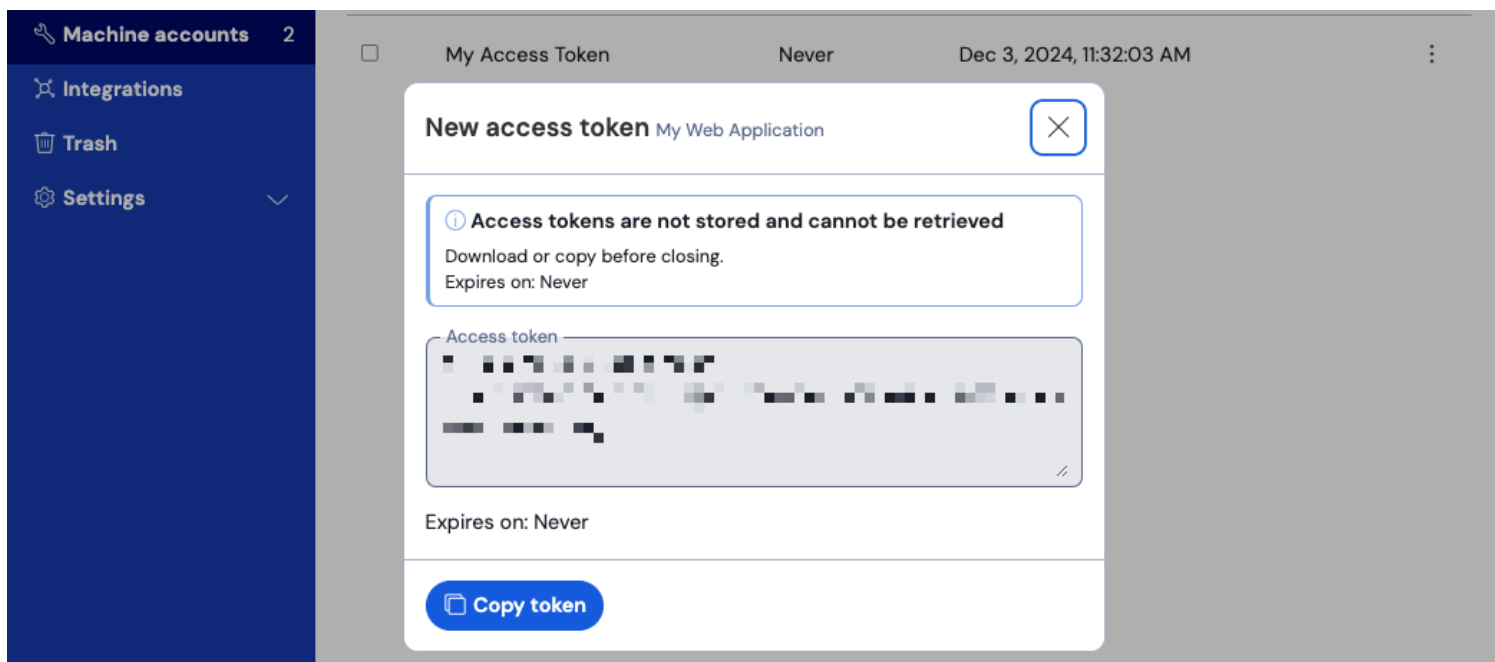
アクセストークンはBitwardenのデータベースには保存されず、取得することもできませんので、それらを生成するときはどこか安全な場所に保存するように注意してください。アクセストークンを作成するには：

1. ナビゲーションから**サービスアカウント**を選択してください。
2. アクセストークンを作成するためのサービスアカウントを選択し、**アクセストークン**タブを開きます：



アクセストークンを作成する

3. **アクセストークンを作成**ボタンを選択してください。
4. アクセストークン作成ウィンドウで、以下を提供してください：
  1. トークンの名前。
  2. トークンが**期限切れになる**とき。デフォルトでは、決してありません。
5. トークンの設定が完了したら、**アクセストークンを作成**ボタンを選択してください。
6. 画面にアクセストークンを印刷するウィンドウが表示されます。このウィンドウを閉じる前に、トークンを安全な場所に保存してください。あなたのトークンは**保存されず、後から取り出すことはできません**：



アクセストークンの例

このアクセストークンは、あなたのマシンやアプリケーションによる秘密の注入と編集をスクリプト化するための認証手段です。

## アクセストークンを使用する

アクセストークンは、シークレットマネージャー CLI による認証に使用されます。あなたがアクセストークンを作成し、その値を安全な場所に保存したら、それを使用して CLI による秘密の取得コマンドを認証し、アプリケーションやインフラストラクチャに注入します。これは次のようになる可能性があります：

- アクセストークンをホストマシンの `BWS_ACCESS_TOKEN` 環境変数にエクスポートします。次のような CLI コマンドは、そのキーの変数を自動的に認証のためにチェックします：

*Bash*

```
bws project get e325ea69-a3ab-4dff-836f-b02e013fe530
```

- `-アクセストークン` オプションを使用して、スクリプトに直接取得して秘密を注入する、例えば以下の行を含む何か：

*Bash*

```
...
export DB_PW=$(bws secret get fc3a93f4-2a16-445b-b0c4-aeaf0102f0ff --access-token 0.48c78342-163
5-48a6-accd-afbe01336365.C0tMmQqHnAp1h0gL8bngprlP0Yutt0:B3h5D+YgLvFiQhWkIq6Bow== | jq '.value')
...
docker run -d database ... -env DB_PW=$DB_PW ... mysql:latest
```

- 専用のGitHub Actions統合を使用して、ワークフローファイルで使用するためのアクセストークンをリポジトリの秘密として保存します。

## アクセストークンを取り消す

いつでもアクセストークンを取り消すことができます。トークンを取り消すと、それを現在使用している任意のマシンが秘密を取得し復号化する能力が失われます。トークンを取り消す：

1. ナビゲーションからサービスアカウントを選択し、アクセストークンタブを開きます。
2. あなたが無効にしたいアクセストークンについては、(⋮) オプションメニューを使用してアクセストークンのアクセスを取り消すを選択してください：

The screenshot shows the Bitwarden interface for a 'Machine account' named 'My Web Application'. The left sidebar contains navigation options: Secrets Manager, My Organization, Projects (3), Secrets (5), Machine accounts (2), Integrations, Trash, and Settings. The main content area is titled 'Machine accounts' and 'My Web Application'. It features a '+ New' button, a QR code icon, and a 'BW' profile icon. Below these is a '+ New access token' button. The 'Access tokens' tab is active, showing a table with columns: All, Name, Expires, Last edited, and a menu icon (⋮). The table lists two tokens: 'My Access Token' (Never expires, Dec 3, 2024, 11:32:03 AM) and 'New Access Token' (Never expires, Dec 3, 2024, 1:29:24 PM). A red box highlights the menu icon for the 'New Access Token' row, and a 'Revoke access token' button is visible below it.

All	Name	Expires	Last edited	⋮
<input type="checkbox"/>	My Access Token	Never	Dec 3, 2024, 11:32:03 AM	⋮
<input type="checkbox"/>	New Access Token	Never	Dec 3, 2024, 1:29:24 PM	⋮

アクセストークンの取り消し